

上付き，下付き文字等の処理仕様

2-1. 表記形式は，次の通り。

項番	特殊文字の種類	原文	入力方法
1	上付き文字	X^n	$X \wedge n$
2	下付き文字	X_m	$X _ m$
3	上下付き文字	X_m^n	$X \wedge n _ m$
4	上文字	$\overset{n}{X}$	$X \wedge \wedge n$
5	下文字	$\underset{m}{X}$	$X _ _ m$
6	上下文字	$\overset{n}{\underset{m}{X}}$	$X \wedge \wedge n _ _ m$
7	上文字（2文字以上にまたがるもの）	$\overset{n}{XY}$	$< XY > \wedge \wedge \wedge n$
8	下文字（2文字以上にまたがるもの）	$\underset{m}{XY}$	$< XY > _ _ _ n$
9	分数	$\frac{X}{Y}$	X / Y
10	平方根	\sqrt{X}	$< X >$
11	三乗根	$\sqrt[3]{X}$	$\wedge 3 < X >$

(1) 表中の“X”，“Y”，“m”及び“n”は，任意の文字列とする。

(2) その他記号については，以下を使用する。（2バイトコードはsjis）

“ \wedge ” "0x(5E)"または"0x(814F)"

“ $_$ ” "0x(5F)"または"0x(8151)"

“ $<$ ” "0x(3C)"または"0x(8183)"， “ $>$ ” "0x(3E)"または"0x(8184)"

(3) 項番1～8のnまたはmが2文字以上の場合は，nまたはmを“ $<$ ”と“ $>$ ”でくくって入力する

(4) 項番9のXまたはYが2文字以上の場合は，XまたはYを“（”と“）”でくくって入力する。

(5) ただし，上記“ $<$ ”と“ $>$ ”や“（”と“）”に相当する部分が，論文データ中で“{”と“}”になっている場合，“{”と“}”を置き換える必要はない。

2-2. 各形式における具体例及び注意事項

〔 1 〕 上付き

- ・ OH^- : $\text{OH}^\wedge -$
- ・ COS^2 : $\text{COS}^\wedge 2$
- ・ $^{13}\text{C} - \text{NMR}$: $^\wedge < 13 > \text{C} - \text{NMR}$

〔 2 〕 下付き

- ・ CH_3 : $\text{CH}_\text{-} 3$
- ・ V_2O_5 : $\text{V}_\text{-} 2 \text{O}_\text{-} 5$

〔 3 〕 上下付き文字

上付き文字列と下付き文字列は，上付き文字列を先にして表記する。

- ・ $[\alpha]_{987}^{123}$: $[\alpha]^\wedge < 123 >_\text{-} < 987 >$
- ・ T_{stuv}^{opqr} : $T^\wedge < opqr >_\text{-} < stuv >$

〔 4 〕 上文字

- ・ Mw : $\text{M}^\wedge^\wedge - \text{w}$

〔 5 〕 下文字

- ・ $\text{COOC}\underline{\text{H}}$: $\text{COOC}_\text{-} \text{-} \text{H}$

〔 6 〕 上下文字

上文字列と下文字列は，上文字列を先にして表記する。

- ・ $\sum_{n=0}^{\infty}$: $^\wedge^\wedge \text{-} \text{-} < n = 0 >$

〔 7 〕 上文字（範囲）

付けられる文字列と上に付く文字列は，前者を先にして表記する。

- ・ \vec{AB} : $< AB >^\wedge^\wedge^\wedge \rightarrow$
- ・ \vec{A}_2 : $< A_\text{-} 2 >^\wedge^\wedge^\wedge -$

〔 8 〕 下文字（範囲）

付けられる文字列と下に付く文字列は，前者を先にして表記する。

- ・ \underline{DEF} : $< DEF >_\text{-} \text{-} \text{-} -$

〔 9 〕 分数

分子と分母は，分子を先にして，“ / ” を挟んで表記する。

- ・ $\frac{14}{53}$: $(14) / (53)$

〔 9 〕 平方根

$$\cdot \sqrt{2X} \quad : \quad <2 X>$$

〔 1 0 〕 三乗根

$$\cdot \sqrt[3]{2X} \quad : \quad ^3<2 X>$$

注意事項：

a) 上付き・下付き

ある文字に下付き文字がつき，その全体に対して上付き文字がつく場合（またはその逆の場合）は，〔 1 〕と〔 2 〕を組み合わせで表現する。〔 3 〕と混同しないこと。

$$\cdot \text{SO}_4^{2-} \quad : \quad \text{SO}_4^{<2 ->}$$

（ O に下付きの 4 がつき，SO₄ 全体に 2 - が上付きでついている）

b) 上々付き文字，下々付き文字，上付き文字に対する下付き文字及び下付き文字に対する上付き文字は，〔 1 〕と〔 2 〕を組み合わせで表現する。

$$\cdot \tau^{m^2} \quad : \quad \tau^{<m^2>}$$

（上々付き文字）

$$\cdot [\text{Glu}(\text{OBzl})]_2 \quad : \quad _<[\text{Glu}(\text{OBzl})] _ 2>$$

（下々付き文字）

c) 必要に応じて入れ子にすることができる。

$$\cdot \sqrt{\frac{a}{bc}} - y \quad : \quad <a / (b c) - y>$$

$$\cdot \frac{13}{\sqrt{2X}} \quad : \quad (13) / (\sqrt{<2 X>})$$

d) 下線や文字の上のバーは，すべてハイフン（ - ）を使用する。

e) 波線は，～（"0x(8160)"）を使用する。チルダ（"0x(7E)"）と区別すること。

3．合成文字

2 つの文字の合成と考えられる文字は，次のとおり入力する。

"【" + 合成要素 1 + "!" + 合成要素 2 + "】"

(例) " (R) " "【 !R】"